

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なごみ 水巻作成日: 平成 30 年 2 月 22 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、意見や要望、質問等を提案する委員も決まっている。会議の内容が画一化傾向にあるので、会議の内容や議題、参加委員の増員等を検討して行く。	複数の民生委員、薬剤師や歯科衛生士、有識者や知見者、他グループホームの管理者等に参加を要請し、専門性を活かした勉強会を行ったり、レクリエーションや避難訓練に参加してもらう等、参加する事で知識や情報を得られるよう、内容に関しても工夫していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	慢性的な職員不足の中で、職員が定着しつつある。人柄の良い職員が勤務しているので、職員一人ひとりの介護技術の向上と意識の高揚に向けて取り組み、働きやすい職場環境を目指していく。	職員の経験や意欲に合わせて交代で、外部の研修会に参加してもらい、知識や介護力を高め、資格取得のためのバックアップ体制を整え、職員が意欲的に働ける楽しい職場環境作りに取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。